

一年の節目に 家族そろって神の館へ

12月

愛寿御礼信者参拝時

迎えた愛寿の月 我が心の姿は いかがであろうか
「心」^{人生}守られ 多くの出会いに支えられた 我が心の姿を 神魂に語る
この姿が 「心」に生きがいを持たせ
悔いなき人生を歩みきるため
迎える年も 「教え」に生きる決意を新たにさせる

今年の歩みを振り返って内省し、心を清めて新たな年へと向かう愛寿御礼信者参拝時。一年間、ご守護の中で過ごせた感謝と、その愛に報いるためにも、真理に沿って歩む決意を神に届けましょう。年々その心を重ねるところに、開運人生へとつながっていきます。

1月

新年信者参拝時

迎える年も 「教え」を学び 心の支えに生きること
皆^{信者}の心は安定し 多く^{人々}の出会いが生まれる
生きがい^{信者}にして 皆^{人生}の心はますます輝く

1月1日祈願祭では、一年の指針と迎えた年がどのような年かがつかめます。時代や環境の変化にのまれず、流れに乗って、喜び多い毎日を過ごすために、いち早く学び、新たな御神体をお預かりして、祈願とともに真理で生きられる自分を目指しましょう。

年末年始の予定

12月30日(日)	神総本部・ ^{ひかりのさと} 偉光郷休講日、 ^{ひかりのやかた} 偉光会館閉門日
31日(月)	神総本部・偉光郷休講日、偉光会館閉門日
1月1日(火・祝)	祈願祭、祈願祭(収録)
2日(水)	祈願祭(収録)
3日(木)	祈願祭(収録)
4日(金)	祈願祭(収録)、信者心の道勉強会
5日(土)	通常の授業体制に

1月1日の開門時間

神総本部の開門時間を変更します。

神総本部；5:45～17:30

・御神体の受け取り 6:10～17:30

偉光郷；8:30～16:00

偉光会館；公式サイト、各偉光会館でご確認ください。

※1月1日の開門時間と授業内容を変更します。

※1月2日以降の開門時間は通常どおり

※偉光郷は、閉門日から休講日に改め、参拝できるようにします。

※詳細は、平成31年神示教会カレンダーや公式サイトでご確認ください。

正月にはいち早く 御神体の受け取りを

—分魂を預かり 「教え」を学び 祈願を重ねる—
そこに 必ず 信者の心は救われる
「神の教会」 あるべき姿が この一言にある

神の分魂である御神体は、神魂を身近に感じて祈願できるように、神が託して下さるものです。神の教えを学び、気付き、実践できるように、祈願を重ねていくところに、心が穏やかになります。いち早く御神体をお預かりし、神魂と共に毎日を過ごしていきましょう。

新たな年の御神体は、神の使い人が、12月の清魂の儀をもって御魂入れを行ってくださいます。1月の清礼の儀では、返納された前年の御神体の御魂抜きとともに、各自の思いも清めてくださいます。

12月15日 清魂の儀
1月23日 清礼の儀

それぞれの神事で表された神示を、
10:00からの信者心の道勉強会で、
お伝えします。

御神体の受け取りは元日から

神総本部、全国の偉光会館^{ひかりのやかた}で1月1日から受け取れます。あらかじめ「御神体申込書」に体数を記入してお持ちください。さまざまご事情により、1月中の受け取りが難しい場合は、神総本部神受窓口、偉光会館にお申し出ください。

前年の御神体は、1月23日を過ぎた場合も、随時神総本部で御魂抜きをしますが、早めにご返納ください。

一部の地方会場でも受け取りが

12月、1月を中心に、御神体をはじめ、神飾り、三和飾り、平成31年の教会カレンダーなどもお求めいただけます。



神飾りと三和飾りの交換は年内に

神飾り、三和飾りは、新たな御神体をお祭りする前に交換しましょう。なお、前年の物は、紙に包むなどして各自で処分してください。

